

連合山形青年委員会・女性委員会

「2014春季生活闘争学習会」 「3.8 国際女性デー周知行動」を開催

3月8日（土）大手門パルズにおいて、山形県内各地より約300名が参加しての青年委員会・女性委員会合同による「2014春闘学習会」を開催しました。

冒頭、主催者を代表して女性委員会渡部勢津子委員長があいさつ、引き続き連帯のあいさつを連合山形大泉会長よりいただきました。

青年女性委員会の取り組みは、2部構成で、引き続き開催される「連合山形2014春季生活闘争勝利！総決起集会」に合流しました。

第1部 「学習会」

テーマを「ストップ ザ 格差社会！いまこそ、暮らしの底上げを」とし、DVD視聴とパネルディスカッションを開催しました。

コーディネーターは女性委員会大竹事務局長。パルラーにはU Aゼンセン（ヤマザワ労組）加藤さん、情報労連（NTTソルコ）菊地さん、県教組（酒田地区支部）斉藤さん、自治労（県職連合中央病院支部）藤井さんの4名で構成しました。はじめに、具体的な業務内容や職場の雇用形態・状況も含めての自己紹介。次に雇用形態の中で困っている事や労働規制緩和などが導入されたら職場はどうなる。職場の実態報告、不安、矛盾点などを挙げていただきました。最後に「今の賃金で文化的で健康的に生活ができてるか」「解決するには何が必要か」「連合山形に望むことは」などについて意見をいただき、終了しました。



第2部「デモ行動」と「3.8国際女性デー周知行動」学習会会場である「大手門パルズ」から連合山形総決起集会在「県民会館」までの約2キロを「春闘勝利！働く者の権利を守れ！男女間賃金格差をなくせ！ワークライフバランスを実現するぞ！」とシュプレヒコールで訴えながらデモ行進を行いました。



また女性委員会役員とその組織からの応援をいただき、「今日は何の日？ 3月8日は国際女性デーです」とリレートークを行い、「チラシを入れたバラの花」を山形市民に配布し周知行動を行いました。



さらに「連合山形2014春闘総決起集会」では青年女性委員会を代表しての決意表明を青年委員会の三瀧委員長が行い、集会参加者に「3.8国際女性デーのチラシを入れたティッシュ」の配布と「ストップ ザ 格差社会！いまこそ、暮らしの底上げを」を演題にした構成詩を行いました。

